

Campus News
4
地下鉄七隈線沿線
三大学連絡協議会関連行事を開催

○地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム

平成29年10月22日、福岡歯科大学本館9階講堂において、「地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム」が開催されました。このシンポジウムは、中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学の三大学の共催で、市民の健康づくりを旨として実施しており、今回で13回目の開催を迎えました。

今年度は「微生物の力を借りて健康になる」というメインテーマのもと、各大学の講師がそれぞれ特色あるテーマで講演を行い、福岡歯科大学からは廣藤卓雄教授（総合歯科学分野）が「お口の健康と乳酸菌」と題した講演を行いました。当日は地域の方や大学関係者を中心に約160名の方々にご参加いただき、来場者の健康に対する意識の高さがうかがえました。

○10周年記念講演会

平成29年12月4日、福岡歯科大学本館8階803講義室において地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会10周年記念講演会が行われました。同協議会は、三大学が連携協力して、教育研究活動の充実ならびにその成果を広く地域に公開し、地域社会との協力関係を構築することを目的として平成19年に発足し、この度、10周年を記念して講演会を開催しました。

福岡歯科大学からは小島寛教授（障害者歯科学分野）が「口腔医学教育と地域における活動」と題した内容で講演し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



Campus News
5
医科歯科総合病院で
大災害時対応訓練を実施

災害に強い安心安全な病院づくり

平成29年10月30日、福岡歯科大学医科歯科総合病院で病院職員が参加して大災害時対応訓練が行われました。訓練は、震度6強の大規模地震により同病院が被災したという想定で行われ、病院災害対策室を設置し、患者の避難誘導・救援担送、トリアージによる緊急度・重症度を判定した後に治療を行うなど、非常事態時における一連の流れを確認しました。また、非常電源・医療物品等の確認や避難場所・指定地にて簡易トイレの組立訓練を行い、参加者は災害時の対応に対する意識を高めました。

※負傷者を重症度、緊急度などによって分類し、治療や搬送の優先順位を決めること



▲簡易トイレの組立実演



▲トリアージポストで医師が患者の重症度・緊急度を判定